

エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業
環境影響評価準備書説明会要旨

- 1 説明会 エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業環境影響評価準備書説明会
- 2 開催日時 令和5年12月17日（日）午後1時30分から午後2時40分まで
- 3 開催場所 弥栄市民センター
- 4 参加者 8人
- 5 事務局

石川隆明副管理者、佐藤正幸事務局長、菅原彰一関清掃センター所長、
蜂谷敏志大東清掃センター所長、吉田健総務管理課長、
菊池弘総務管理課施設整備係長、石川勝志総務管理課主査、
日下尚也総務管理課主事
一般財団法人日本環境衛生センター3名（以下、日環センター）、
国際航業株式会社4名（以下、国際航業）

6 説明

- (1) エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業の概要について
- (2) 環境影響評価準備書について

7 説明内容

- (1) エネルギー回収型一般廃棄物処理施設整備事業の概要について
配布資料に沿って事務局が説明を行った。
- (2) 環境影響評価準備書について
配布資料に沿って国際航業が説明を行った。

8 あいさつ

本日はご多用の中、説明会へ参加いただいたことに対し感謝を申し上げます。

第11回目の住民説明会となっているが、説明会は整備事業のいろいろな段階で開催し、その都度皆様からご意見をいただきながら計画の内容について検討してきたところである。

本日の説明会は環境影響評価についてであるが、令和3年度から環境影響評価に着手し、この度、調査が終わり環境に対する影響がどのようなものが想定されるかを取りまとめたことから、その内容について説明をさせていただく。評価する項目も多岐にわたり、ボリュームのある内容となっており、概要の説明にならざるを得ないところもあるため、説明後に皆様から気になる点、不明な点があればご質問をいただきたい。

本日は限られた時間ではあるが、よろしくお願ひしたい。

9 質疑応答

参加者 廃棄物運搬車両の運行について、最大で1日当たり300台運行すると想定とされているが、工事期間ではなく、施設稼働後の台数と理解してよいか。

事務局 300台は施設稼働後の車両の台数である。

参加者 片道300台になるということか。

国際航業 1日当たり300台の車両が往復するという前提で予測を行っている。現在の収集範囲は大きく東側と西側に分かれており、東側と西側とで半々の150台ずつとして予測している。車両台数の設定については、現状では1日当たり246台程度の車両の出入りがあり、施設規模は現在より小さくなるが、収集範囲は同じであるため、実績台数よりも安全側をみて300台と設定している。

参加者 300台とは収集車両の台数か。一般持込車両の台数は把握しているのか。

国際航業 一般持込車両も含んだ台数である。なお、一般持込車両は大型車ではなく普通車もあるが、予測上は300台すべてを大型車両に置き換えて、排ガスや騒音・振動の数値が大きくなるような条件で計算を行っている。

参加者 説明会で出た意見は意見書としては取り扱われないという話であったが、必ず意見書でないとだめなのか。そうでないと、何のための説明会なのか分からない。私達とすれば、今回の環境影響評価の説明は初めて聞くものである。それを1月11日までに意見書だけを出してくださいというのは乱暴ではないか。そして説明会で出された意見は反映されないとのこと。地元とすればどのように考えていけばいいのか。

事務局 今回の説明会では、ご質問をいただいた内容についてはその場でお答えしている。意見書に関しては、岩手県環境影響評価条例で決められた制度的なものであって、意見書としてご提出をいただいたものについては、それに対しての事業者の見解を記載した上で、岩手県に提出することとなっている。

国際航業 最終的に評価書というものを作成することになるが、制度上、意見書として提出されたものについて評価書に記載することとなり、説明会で出された意見については評価書に掲載されない。ただし、今日の説明会で頂いている意見については、県へ説明会の開催結果として報告する。その後、県において環境影響評価技術審査会を開催して、県知事意見をまとめるが、審査会では説明会の開催結果についても含めて審査が行われるため、住民の皆様から頂いた意見も含めて知事意見に反映されるということだと認識している。組合としては、書面で提出されなくても頂いた意見を踏まえて計画の内容へ反映していくという考えになるかどうかと思う。

参加者 説明会は1回だけなのか。もっとこれから続くのか。

事務局 準備書に関する説明会は、本日と今週木曜日の夜に川崎市民センターで行う予定であり、その2回の予定である。

事務局 本日の説明は概要的なものであり、詳細については、本日配布した資料でもお伝えしきれていない部分もあろうかと思う。一つ一つについて詳細な説明ができればよいが、ボリュームが多く専門的な内容もかなりあるため、準備書の内容については、組合のホームページでもご覧いただけるようにしている。皆さんの関心のある分野もあろうかと思う。気になるところは個別にお問い合わせ頂ければと思う。

参加者 環境影響評価準備書について、組合ホームページをどのくらいの人が見ているのか。

事務局 アクセス件数等は把握していない。

事務局 本日の説明会でお伝えしたかったこととしては、様々な基準があるが、現況を調査して予測をした結果を、それら基準と比較してみても、施設を整備し稼働しても、生活環境への影響は非常に小さい、基準を超えるということはない、そのような運用が可能な状況になっているということが一番の主旨である。その中で細かい部分で気になるところがあれば、お答えさせていただきたい。また、組合ホームページでも準備書をご確認いただけるようにしているので、そちらでもご確認をいただければと思う。

10 担当課 総務管理課